

燃料安全研究国際会議 2007 プログラム

5月16日(水)

- | | |
|---|---|
| <p>9:30～10:20 開会挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子力機構における燃料安全研究 <p>10:20～17:30 反応度事故時の燃料挙動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・RIA 基準に関する USNRC の見解 ・RIA 基準に関する米産業界の見解 ・RIA 及び LOCA 基準に関する仏産業界の見解 ・高燃焼度燃料ペレットの RIA 時熱応力解析 ・高燃焼度 LWR 燃料からの RIA 時 FP ガス放出 ・高燃焼度燃料の PCMI 破損に関する研究成果 ・MOX 燃料の RIA 時挙動に関する研究成果 ・RIA 時の被覆管初き裂先端における応力拡大係数 ・CIP0-1 及び VA-2 実験の解析 ・高温カプセルを用いた NSRR 実験 | <p>野村 正之 (原子力機構)</p> <p>更田 豊志 (原子力機構)</p>
<p>J. Voglewede (NRC・米)</p> <p>R. Montgomery (ANATECH・米)</p> <p>N. Weackel (EDF・仏)</p> <p>鈴木 元衛 (原子力機構)</p> <p>笹島 栄夫 (原子力機構)</p> <p>杉山 智之 (原子力機構)</p> <p>梅田 幹 (原子力機構)</p> <p>宇田川 豊 (原子力機構)</p> <p>V. Georgenthum (IRSN・仏)</p> <p>杉山 智之 (原子力機構)</p> |
|---|---|

5月17日(木)

- | | |
|--|--|
| <p>9:30～13:40 冷却材喪失事故時の燃料挙動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・模擬 LOCA 条件下における高燃焼度燃料被覆管の挙動 ・高燃焼度燃料被覆管の酸化挙動に関する研究成果 ・ハルデンにおける LOCA 実験 ・LOCA に関して提案された USNRC・RES 脆化基準(10 CFR 50.46) ・USNRC の LOCA 脆化基準改訂に関する技術的根拠 <p>13:40～16:30</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高燃焼度燃料解析コード FEMAXI の拡張 ・照射燃料の結晶格子歪み変化 ・JMTR の照射試験計画 ・JMTR 照射施設の開発 ・燃料からの放射性物質放出に関する VEGA 計画から得られた研究成果 <p>16:30～16:45 閉会挨拶</p> | <p>永瀬 文久 (原子力機構)</p> <p>中頭 利則 (原子力機構)</p> <p>W. Wiesenack (OECD Halden)</p> <p>M. Billone (ANL・米)</p> <p>M. Billone (ANL・米)</p>
<p>鈴木 元衛 (原子力機構)</p> <p>中村 仁一 (原子力機構)</p> <p>中村 武彦 (原子力機構)</p> <p>扇柳 仁 (原子力機構)</p> <p>工藤 保 (原子力機構)</p> <p>石島 清見 (原子力機構)</p> |
|--|--|